

## ご挨拶



岩手県立軽米高等学校同窓会員の皆様方におかれましては、国内はもとより世界中でご活躍のことと心からお喜び申し上げます。

また、日頃より同窓会ならびに母校の運営にご協力、ご支援に対しまして心から御礼申し上げます。

今年度は新型コロナウイルス感染拡大に伴い同窓会総会を中止、常任理事会を総会に切替て審議頂き、役員の皆様に総会資料を送付致しました。

また、同窓会東京支部、盛岡支部、九戸支部、八戸支部ともにコロナ感染症の拡大により、残念ながら総会の開催が見送られておりますが、東京支部からはすでに来年度の支部総会のご案内を頂いております。今年こそは感染症の終息により、各支部の皆様と元気に会い出来ることを楽しみにしております。

さて高校に目を向けますと、コロナウイルスの影響で、在校生にとりましてはこれまでのように学校生活を送れない状況が続いており、各種学校行事の中止やクラブ活動もままならない中、特に3年生にとっては、これまでの目標に向け、頑張ってきた成果を発揮できる場を失うこととなり、大変残念ではありましたが、この経験を機に次のステップに向け頑張してほしいと心から願うところであります。同窓会としても、このような状況下で頑張る在校生のために、少しでも支えとなれるよう母校の支援を行っていきたくと考えているところであります。

しかしながら、軽米中学校卒業生数は年々減少傾向にあり、軽米中学校からの入学率は6割前後となっており、厳しい状況が続いております。進行する少子化の中で町内一校となりました軽米中学校からの入学者数の減少に大変な危機感を抱いているところであります。

このような少子化の中で県立高校の再編計画が進められており、県内では地元高校の存続を願う官民一体となって特色ある高校支援を打ち出しております、軽米町におきましても様々な支援策を講じて頂き、八戸市方面の通学支援に取り組み、町外からの入学生確保にも力を入れ、近隣市町村からの入学生に対しましても通学支援の拡大を図って頂いております。町当局に対し同窓会を代表いたしまして深く感謝いたしますとともにさらなる支援の拡充をお願いして参る所存でございます。

今後、数年で軽米高校の存続が危ぶまれる事態が想定されます。高校の存続が軽米町の生命線であり、高校生の姿が町から消えてしまうことは何としても阻止しなければなりません。町民の皆様方のお力でなんとか、現在の1学年2学級40人以上を維持出来ますよう、町、町民、同窓生の力強いご支援を賜りますよう宜しくお願い致します。

しかしながら、同窓会の運営は生徒数の減少により、会計のやり繰りも大変難しく、昨年度より、同窓会有志の方々に事業部会を立ち上げて頂き、軽米高校を応援するとともに同窓会の自主財源確保に向けクリアファイル等オリジナルグッズを作製し、町民意識を盛り上げていく活動に取り組んでおります。更には協力金のお願ひも継続して参りますので、今後とも宜しくお願い致します。

新年度は共に笑顔でお会いできることを切に願うとともに、多くの同窓生皆様のご参加を役員一同心からお待ちいたしております。

結びに、母校のたゆまぬご発展と同窓生の皆様方のご健勝とご多幸をご祈念申し上げ、ご挨拶と致します。

同窓会長(第27回生) 松浦満雄

## 支部会だより

※例年は、各支部総会の様子を掲載しておりましたが、今年度は全ての総会が中止となったため、各支部の会員の方に、高校時代の思い出や近況報告などのメッセージをお願いしました。東京支部からは、感染対策を施した上で開催した役員・スタッフの打ち合わせ会などの報告をいただいております。

### 東京支部 東京支部事務局長(第34回生) 畑澤康弘

令和2年6月27日(土)12時より日暮里ホテル・ラングウッドにて第56回軽米高校同窓会東京支部総会懇親会を開催する予定でした。2020年1月に感染者が中国・武漢で発見されみるうちに日本、いや世界に感染者が増大しました。世情を鑑み感染症拡大の状況を考慮し、開催は中止とさせていただくことといたしました。ご多用の中ご予約をお合わせいただいたにもかかわらず皆様にはご迷惑をおかけし深くお詫び申し上げます。

東京支部は、感染拡大に注意し密を作らない・マスク・アルコール消毒・うがい等々を徹底実践しながら、東京支部新年会決起会を令和2年1月18日(土)極-KIWAMI-月見花見五反田西口店にて役員・スタッフ・会員総勢29名で開催し

ました。この日の東京都のコロナ新規感染者数は都発表で4名でした。この頃は、感染者も少なく誰も感染拡大を予想すらしてい







ませんでした。役員・スタッフ・会員皆様から次年度の前回の反省点に基づき改善点・アドバイスを挙げ質疑応答しました。懇親会は、盛りあがり6月の本番前に又再度打合せでお会いしようとして散会しました。

2月22日(土) ボーリング大会&『かけを食す会』を、笹塚ボウル・炉端座八戸にて総勢15名で開催しました。この日の東京都のコロナ新規感染者数は都発表で29名でした。例年『かけを食す会』はやっていたのですが、お店の近くにボーリング場があり会員世代がボーリングに熱中した方が多いのもあって大好評でした。

ボーリング大会は大変盛り上がり、ストライクが出るたびに歓声があがり、参加者全員が笑顔でプレーし、1ゲームのつもりが2ゲームしてしまいました。役員・スタッフ・会員共に普段見れない表情・笑顔を見せ、汗もかきました。参加者全員から次回もやりましょうと多数の声がありました。

令和2年度の総会・懇親会中止決定後でしたが、これまで張り詰めた物のストレス解消と気分転換を兼ねてその後も集まりました。8月8日(土)この日の東京都のコロナ新規感染者数は都発表で273名でした。この頃は新規感染者も増えつつあり参加予定者もキャンセルされる方が多くなりました。自己責任での参加、無理強いをしない事は必須です。令和2年度 軽米高校同窓会東京支部プチ同窓会13名で12:00~キリンビール横浜工場キリンビール 横浜工場内レストラン ビアポート屋外BBQという事で一つのテーブル6人掛けに3人と密を回避し消毒、マウスシール



ド着用の上開催、その中で各役員・スタッフの役割を再度確認しました。終了後 みなと博物館 鑑賞会を実施しましたが、バーベキューは解放感もあり、ビールもお肉も美味しく頂き、お話も盛りあがり、その後の博物館鑑賞もあつという間に閉館時間になり散会となりました。コロナ禍中の集まり、賛否両論あると思いますが、こんな時期だからこそ絆・繋がりを大切に活動して良かったと思っています。

東京支部ではSNSを利用活用していますがコロナ禍でやって良かったと思ったことがあります。東京支部会ではLINEでグループラインを2つ作っています、作ってから5~6年経過します

が、①は役員・スタッフ専用グループライン、②は軽米高校同窓会グループラインを作成し画像や動画、連絡事項などを一度に送るには非常に便利であり情報共有にも最適なツールとして利用しています。母校・ふるさと、いろいろな話題で盛り上がり、リモートのこのご時世やって良かったと思います。ぜひ他の支部にも推奨します。

令和3年度東京支部総会及び懇親会は、日暮里・ホテルラングウッドにて令和3年6月26日(土)開催を予定しております。皆様、お友達もお誘いの上ご参加よろしくお願ひ申し上げます。

## 東京支部 (第27回生) 中野 正明

新型コロナウイルス感染症の猛威が全国的に広がる中、同窓生の皆様も様々な行動の制約が求められています。予防対策を取られて「元気に 明るく」過ごして行きたいと思っています。

私は、東京消防庁採用以来、約四十一年消防活動一筋に都民の生命、身体、財産を守るため、昼夜を問わず尽力し職責を大過なく定年退職を迎えられた事は、家族をはじめ、職場の同僚等に感謝するとともにホッとしています。

今まで消防職員としての経験を生かして、社会に貢献できればと思い、現在は公益財団法人東京防災協会にお世話になっています。

当協会の事業内容は、六事業位に分けられますが興味のある方は、ホームページをご覧ください。

私は、その中の応急手当教育指導員の業務を行っています。

具体的には、救命講習など各種応急手当講習の指導、認定証の交付を行っています。

救命講習は、協会主催講習、各消防署受付講習、東京マラソン参加ランナーに対する大規模講習など東京で年間二十五万人が受講されています。

今年は、オリンピックに向けて四月からオリ・パラボランティアの救命講習も予定されています。

救命講習では、応急手当の重要性や倒れた人を発見した時の対応など講義します。

例えば、元気な人が急に倒れて、四十八時間以内に亡くなることを「突然死」と言います。日本では、突然死で年間約六万人が亡くなっていると言われてます。東京都では、救急車が現場到着まで約八分かかる状況です。

倒れた人のそばにいる人が、この八分間に何もしなければ、倒れた人の人生が大きく変わります。救急車が到着するまでに119番通報、AEDの活用、早期の胸骨圧迫を正しく行うことで多くの命が助かる事を講習の中で、実体験を交えて話しています。

実技では、訓練用人形、模擬AEDを活用し、実際に心肺蘇生法を行います。

救命講習を受け、正しい知識、技術を身に付けることで「倒れた人を発見した時の対応」を覚えてもらいます。

あなたの大切な人を含め、多くの命が助かるかもしれない。そして多くの方が救命講習を受講することにより、巡り巡って「自分をも助かる」と訴えています。

最後に今年オリンピック無事に開催とコロナが終息することを祈っています。

## 東京支部 思い起こされる高校時代

(第32回生) 五枚橋 修

私の高校時代の思い出は、何といっても寮生活です。昭和54年、松柏寮での生活が始まりました。まだまだ中学生気分だった私たち1年生は、先輩・後輩という縦社会を思い知らされました。



春の応援歌練習では、学校での練習の前に、寮での練習でしっかり鍛えられ、その後体育館で鍛えられました。普段の生活も一変です。朝6時のお弁当詰め（同室の先輩の分もです）、朝夕の清掃など、それまではあまりやったことのない作業が目白押しでした。掃除や挨拶、生活態度は先輩から厳しく指導されました。おかげさまで、今でもトイレ掃除は苦になりません。

楽しいこともありました。部屋先輩と年に数回、お菓子や飲み物でささやかなパーティーを行います。クリスマスは全室同時に大騒ぎでした。また、こちらも年に数回の「吠える会」、みんなで肩を組んで大声で歌いまくります。寮の近所にはだいぶご迷惑をお掛けしたようです。

いろいろなことがあった寮での3年間は、今では良い思い出となり、社会人生活の基礎を教えていただいた3年間でした。

## 東京支部 思い出

(第36回生) 小笠原 純人

皆さんは、昔のことを思い出したり懐かしんだりすることはありますか。僕は上京して働くようになってからは、あまりそういうことがありませんでした。ある時期から、同窓会の案内が届くようになりました。いつかは行こうかなと思いつつも、忙しさを理由に行くことがなく何年か過ぎていきました。

数年前のことですが、父が病気になる、実家に帰る機会も多くなりました。しばらくして父は他界しましたが、その頃から昔のことをなんとなく懐かしく思ったりするようにもなりました。それから何か月かして、同窓会の案内が届きました。その年は高校時代の恩師も来られるとのこともあり、出席してみることにしました。当日は初めてお会いする方も多く、多少戸惑いましたが、皆さんとても親切にしてくださり安心しました。恩師を囲んでいるような懐かしい話をしたり同級生ともあうこともでき、とても楽しい時間を過ごさせていただきました。思い出とは自分ひとりだけのものではなく、いろんな人たちと共感しあうことでもあるんだなと、なんとなく感じました。そして今は、同窓会のスタッフとしてお手伝いさせていただいています。

同窓会って、行こうかなと思いつつも、つい行けず終いだったりするものだと思います。まだお越しにならなかった方も、ちょっとだけ重い腰を上げてのぞいてみるのも悪くないんじゃないでしょうか？きっと何か感じることもあると思います。今年はコロナ禍で中止となってしまいましたが、次回は是非開催されればと思っています。そして、そこでまた新しい思い出を作ればなと思っています。

## 盛岡支部 (第34回生) 池野 直友 (旧姓浅水)

私は1965年・円子出身で、1984年に軽米高校を卒業。現在は盛岡市で暮らしており、縁があって市議会議員として働いて10年目に入っております。

7年前、東京の同級生から、軽米高校同窓生の総会があるから参加してみないか〜？と誘いを受け、東京にも行きたかったので（笑）参加してみました。そこから軽米高校への母校愛が目覚め、今は盛岡支部の総会に参加させて頂いております。先輩も後輩も、身近なところで、皆イキイキとして、あらゆる分野で活躍している事を知り、一層軽米出身の誇りが大きくなり、感謝している昨今であります。

昨年の、春の事です警察の方が自宅に訪れまして、『何か悪いことをしたっけかなあ』と自問自答をしながら玄関に出ると「見前幹部交番の署長として赴任しました！」と。盛岡支部総会でお会いしたばかりの後輩が挨拶に来てくれたのでした。逮捕さ

れるかと心配していましたが、ホッとしました。今後は悪いことは出来ないかと、決意した（笑）瞬間でもありました。

軽米高校を卒業してから、母校愛を育ててくれるのは、また喜びを大きくしてくれるのは、各支部の同窓生の総会などへの参加が大事なあとしみじみ感じているコロナ禍の新年です。

常に「軽米ハート」を胸に頑張ってます（^^）

## 盛岡支部「県警軽米会」の紹介

(第38回生) 木野下 博道

私は現在、岩手県警の警察官として勤務しておりますが、当県警職員で構成する「県警軽米会」の事務局を務めており、今回はこの県警軽米会について紹介します。

まず、会の構成員ですが、軽米町出身者はもちろん、他市町村出身でも軽米高校の卒業生であることを基本としており、現在の会員は現職28名、OB 8名の計36名で、約8割が軽米高校の卒業生です。OBの中には、部長や署長を歴任した方もおり、県警の中でも一目置かれる存在です。

会としては、年に一度、近況報告会（ただの飲み会ですが・・・）、退職者があれば送別会を開催しており、当然ながら酒が回れば軽米訛りが炸裂し、ふるさと談義に花が咲きます。そして、何よりも軽米に関係する者としての絆と連帯感が生まれ、お互い励まし合いながら職務に励んでいる次第です。

今は、新型コロナウイルスの影響で、これまでのように集まることはできませんが、県警軽米会会員一同、軽米高校はもとより軽米町の発展を願い、その一助となれるよう結束を強めていきたいと思っておりますし、後輩の皆さんが県警職員に採用され、仲間が増えることを期待しております。



## 八戸支部 (第26回生) 小笠原 弓子

私は1957年、晴山の地で誕生し、進学前は妹と弟の世話をしながら、父と母のたばこ農業の手伝いをして過ごしました。晴山小学校、晴山中学校に在学しており、自称「おませさん」として流行に敏感で、バス停留所の前にある商店で「アイプチ」をゲットして、一重まぶたを二重にすることに夢になっていた時期があります。毎日「アイプチ」活動に勤しんでいたところ、今は亡き父から、「あがめひつたくれでるよってやめでけれ。」と言われた出来事は、娘に抜群にウケる爆笑ネタです。

そんなおませさんとして過ごした私は軽米高校に進学し、地学の山陰先生の大ファンになりました。あまり勉強に興味のなかった私ですが、一生懸命地学を勉強した記憶があります。地学の学習のおかげか、その当時はあまり有名ではなかった三内丸山遺跡を娘の自由研究で取り上げようとひらめき、娘の自由研究は時の亀井静香文部科学大臣から賞をいただきました。娘が賞を取った



のは後にも先にもこれ一回きりです（笑）。

高校卒業後は、関東方面に上京して就職しましたが、地元が恋しくなり4年後に軽米に戻ってきました。紆余曲折の末、63歳の現在は八戸でギフト販売のハリカ八戸店を営んでいます。

現在、世間で猛威をふるっている新型コロナウイルス感染症問題では、マスク不足の際にお子さんを養護学校へ送り出している親御さんから、「マスクをしていないと通学のバスにすら乗せてもらえない。」との悲痛なお声を聞き、共にがんばってくれている従業員からの後押しもあり、市に医療マスクを寄付させていただきました。決して立派な人間ではない私でも、少しは社会貢献をしてみたいとずっと思ってきましたが、ようやく微力ですが叶いました。

軽米高校卒業生同窓会スタッフとして、みなさんと昔を懐かしみ、互いの発展を願い、和気あいあい楽しい同窓会を企画・運営して参りますので、みなさん！是非お会いして昔話に華を咲かせましょう！！

## 九戸支部 感謝

(第16回生) 柴田 秀二

岩手県立軽米高等学校同窓会、九戸支部 前事務局長、山口則雄さんが令和2年11月6日ご逝去されました、謹んで心からご冥福をお祈り申し上げます。

岩手県立軽米高等学校同窓会支部は、東京・盛岡・八戸・二戸・久慈と5支部ありましたが、九戸支部が設立されたのは平成3年5月17日の本部総会で承認いただき、当初から山口さんは事務局長として設立の準備からすべてにおいてまとめあげ、以来28年間もの長きにわたり活躍して頂きました、私も名前ばかりでの初代支部長として、彼の積極的な行動力のおかげで歩みを止めることなく努めることが出来ました。なかでも毎年総会を開催している支部は、東京、九戸支部だけではないかと認識しております。年一度の総会には本部より同窓会長、校長先生、ほかに多くの担当役員の方々からご出席いただき、ときには来賓のほうが多いのではないかと、はらはらした総会もありました。それでも設立以来28年間にわたり総会を一度も欠かさず開催し、総会席上においては、些少ではありますが母校の生徒たちに役に立てればと図書券を贈呈し継続できたことも彼の発想によるものでした。

そして昨年は後任の事務局長を見つけたからと退任され、今後は相談役として、さらに支部の活動を盛り立てて頂くことになっておりましただけに誠に痛恨の極みであります。その意思はあなたが見込んで指名した後任事務局長が必ずや受け継いで期待にこたえてくれると確信しております。

「継続は力なり」「緑の下の力持ち」、を行動で示した、山口氏のこれまでの功績にあらためて敬意と感謝の言葉を送ります。「ありがとうございました」。

## 同窓会 事務局だより

### 〈令和2年度 同窓会総会〉

4月15日（水）に臨時役員会を開催し、例年6月に開催しております同窓会について意見交換を行いました。令和2年度の同窓会総会及び懇親会は新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から中止することでまとめ、会則にはございますが、現在の状況を鑑み常任理事会の審議をもって総会の決議として進めさせていただきました。

### 〈令和2年度の活動報告〉

本校入学式	令和2年4月7日（火）
臨時役員会	令和2年4月15日（水） ・新型コロナウイルス感染症への対応について
会計監査	令和2年5月19日（火）
同窓会常任理事会	新型コロナウイルス感染症防止のため書面にて実施
同窓会総会	新型コロナウイルス感染症防止のため中止
東京支部総会	新型コロナウイルス感染症防止のため中止
盛岡支部総会	新型コロナウイルス感染症防止のため中止
九戸支部総会	新型コロナウイルス感染症防止のため中止
八戸支部総会	新型コロナウイルス感染症防止のため中止
同窓会報の発行（第48号）	令和3年2月26日（金）発行予定
同窓会入会式 （証書ホルダー、クリアファイル贈呈）	令和3年2月26日（金）
本校卒業式	令和3年3月1日（月）

### 〈平成30年度～令和2年度本部役員〉

会長	松浦満雄
副会長	中村正志・千葉千賀 小林福正・小林浩・江刺家雅弘
監事	茶屋隆・木戸口春彦